



胃のレントゲン検査

昭和56年がんの部位別死亡状況(富士市)

部 位 名	死亡者数(人)
胃	60
気管、気管支及び肺	29
肝臓	27
直腸及び肛門	12
白血病	11
膵臓	8
子宮	8
乳房	3
食道	1
その他	62
計	221

以下肺炎及び気管支炎、不慮の事故、肝硬変と続いています。

がんで亡くなった221人の部位別順位は、胃がんが60人でトップ、以下肺がん、肝臓がんと続き最近の傾向として肺がんの増加が目立ちます。

がん予防の12カ条

- 偏食しないでバランスのとれた栄養をとる
- 同じ食品を繰り返して食べない
- 食べ過ぎを避ける
- 深酒はしない
- 喫煙は少なくする
- ビタミンA・C・Eと繊維質のものをよくとる
- 塩辛いものを多量に食べない
- ひどく焦げた部分は食べない
- かびの生えたものは食べない
- 過度に日光に当たらない
- 過労を避ける
- からだを清潔にする

がんは年齢的に中年以降に多く発生します。男女とも40歳を過ぎたら年1回は検診を受けましょう。

がんを防ごう

がんに対する正しい知識を身につけ、早期発見、早期治療により、がん被害を防止することを目的に9月1日から1ヵ月間「がん征圧月間」がはじまります。

がんが脳卒中を抜いて第1位に一昭和56年にがんで亡くなった人は全国で約16万6,000人。脳卒中による死者を約9,000人も上回り、死因別順位のトップになったと先頃厚生省は発表しました。

また、全死亡者数に占める「がんによる死者」の割合は23.1%で、亡くなる人のおおよそ4人に1人はがんが原因となっています。

増える肺がん

市内で昨年1年間に亡くなった人は1,052人。死因別順位を見ると、トップが脳卒中で240人、第2位のがんで221人、第3位が心臓病で194人と成人病といわれている脳卒中・がん・心臓病が上位を占めています。

早期発見・早期治療

九月はがん征圧月間



街路樹などに名札を

(おねがいします) 公園や道路、神社などにいろいろの樹木が植えられています。その樹木の名前を子どもにも尋ねられてもわからず、こまったことがありました。そこでお願いです。公的な場に植えられている樹木に名札をつけていただけないでしょうか。

また、警察署前の通りに植えられている「ニセアカシヤ」に替わって、「ユリノ木」が植えられるかもしれないと聞きました。

ぜひ「ユリノ木」を見たいと思います。よろしく願います。

(宮島Kさん)

(おこたえます) ご要望の樹木に名札を付けることにつきましては、市民のみなさんから多くの意見がありますので、街路・緑道・公園などの樹木に名札を付けることを考えています。

警察署前の「ニセアカシヤ」に替わる樹種の選定は「ユリノ木」を含めて検討しているところです。

市内では、柳島の市営住宅・田子浦団地A棟南側に数本植栽されていますのでご覧ください。(市みどりの課)